

第44期 年次報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

 三協フロンティア株式会社

JASDAQ
証券コード9639



MOBILE SPACE FRONTIER®

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々*に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第44期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）
年次報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、海外経済が昨
年来の減速した状態から徐々に持ち直す中、新政権や日
銀による景気回復策への期待感から年度末にかけて大幅
な円安や株価回復が進むなど、景気は回復基調に向かい
つつあります。その一方で、急激な円安による輸入資材や
エネルギー価格の上昇が懸念されるなど、先行き不透明感
は拭えない状況です。

ユニットハウス業界においては、東北地方を中心に公共
事業や民間建築等に伴う需要は増加したものの、本格的
な復興需要は当初の想定より遅れが出ています。一方、関

東地方を中心に設備投資が回復し、需要も緩やかに伸び
ています。

このような状況の中、当社は2011年度に引き続き、仮
設現場事務所や店舗、宿舍など、被災地の需要に優先的
にの応えとともに、生産能力の増強を図り、全国的なレンタ
ル・販売の需要増加に対応してきました。

当社の事業ポリシーである「必要な時に必要なだけ必要
な空間を必要な設備とともに提供する」を実践することで、
当社のユニットハウスは、従来の仮設建設市場だけでなく、
ここ数年来開拓を続けてきた建築市場、不動産市場にお
いてもその優位性を十分発揮できるものと確信しています。
当社のコア技術である“建築の工業化”をさらに高めていく
ことにより、新たな市場開拓を推進していきます。

今後とも創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピ
リッツ（開拓の精神）を原点に、社会に貢献する会社を目指
し、失敗を恐れず情熱をもって活動していきます。

当連結会計年度（平成24年4月1日～ 平成25年3月31日）の業績について

2012年度は、震災復興需要の旺盛な東北地域をはじめ
他地域においても高い需要に支えられ、ユニットハウスの
レンタル・販売ともに好調に推移しました。2011年度から
取り組んでいるエアコンシステムや配電システム（電気配線
と電気設備をユニットハウスと一体化したものは、ユニット
ハウスの付加価値を向上させ、お客様からも好評をいただ
いています。

また、トランクルームについては、新たに51店舗出店し、

期末店舗数は154店舗となりました。さらに、当社直営の
展示場を18店舗出店し、期末店舗数は116店舗とするな
ど、販売チャネルの拡充に努めてまいりました。

当社では、旺盛な需要に対応するため、2012年度、新
潟工場や姫路工場の生産ラインを増設し、供給体制の確
立に努めました。しかしながら、需要のピーク時には供給が
間に合わないケースも見られたため、今後の需要拡大を見
込み、新たに工場用地を取得、つくば工場として2013年
中の本格稼働を目指して準備を進めています。

上記の結果、当連結会計年度の売上高は24,095百
万円（前年同期比17.6%減）となりました。

利益面においては、営業利益3,364百万円（前年同期
比31.9%減）、経常利益3,438百万円（前年同期比29.9
%減）、当期純利益2,069百万円（前年同期比16.2%減）
になりました。

なお、前年度実績に東日本大震災の仮設住宅建設の
売上高が含まれているため、前年同期比は減少となりまし
たが、おおむね期初の計画に沿った実績となっています。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活か
し、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の
拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指
導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成25年6月

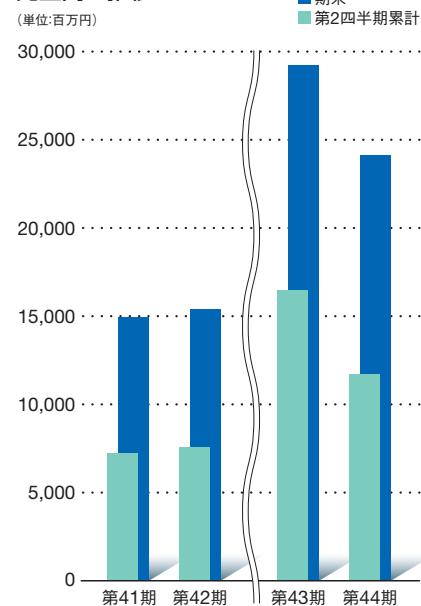
代表取締役社長 長妻貴嗣

業績ハイライト

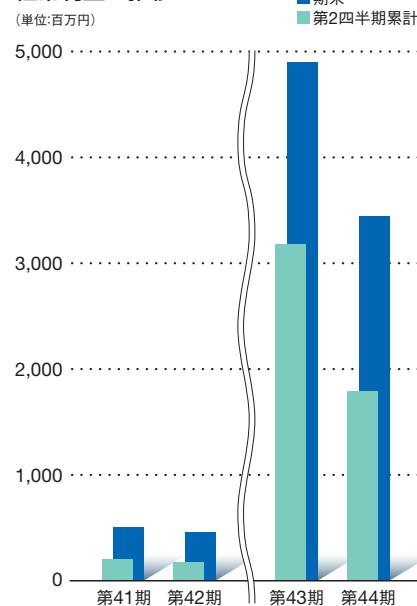
区分 \ 期別	第40期 (平成21年3月期)	第41期 (平成22年3月期)	第42期 (平成23年3月期)	第43期 (平成24年3月期)	第44期 (平成25年3月期)
売上高(百万円)	16,926	14,916	15,381	29,234	24,095
経常利益(百万円)	1,259	506	454	4,907	3,438
当期純利益(百万円)	674	209	170	2,469	2,069
1株当たり当期純利益(円)	30.27	9.49	7.72	111.70	92.82
総資産(百万円)	26,795	25,801	26,290	35,312	40,300
純資産(百万円)	16,611	16,555	16,531	18,717	20,040

(注) 第43期より、連結決算を採用しています。第42期以前は、単体決算であり、参考値として掲載しています。

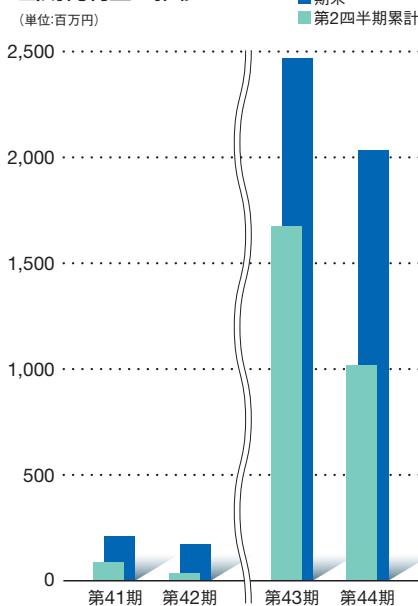
売上高の推移



経常利益の推移



当期純利益の推移



免責条項
本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化など様々な要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

各事業の概況

ユニットハウスのレンタル

1日からでもレンタル可能。
建設現場からイベント会場、仮設住宅まで
必要な期間に最適な空間を提供します。

ユニットハウスのレンタルについては、震災復興需要が旺盛な東北地域のみならず、各地で出荷が好調に推移しました。また、エアコンや電気工事など設備の付帯工事獲得に向けた営業を強化するなど、受注単価向上に努めました。

これらの結果、当期のレンタル料収入は13,534百万円(前年同期比9.1%減)となりました。今後も、建設現場向けのシェア拡大と新たなレンタル需要の創出を目指し、新規顧客獲得に向けた営業を強化していきます。



建設現場事務所



イベント施設

ユニットハウスの販売

オフィス、店舗、教育・保育施設、倉庫など
全国のさまざまなシーンで
ユニットハウスが活躍しています。

前期に引き続き、展示場の出店を推進し、販路の拡大を図りました。また、キャンペーン実施による販売促進とともに、オフィスや店舗などの建築物の営業に努めました。

これらの結果、販売売上高は10,342百万円(前年同期比26.8%減)となりました。今後も、市場ニーズに合わせた製品開発に取り組むとともに、展示販売の強化や販路の拡大を進めます。



トレーニングルーム



事務所

Topic 1 気仙沼宿泊施設を開設

東日本大震災の被災地における復興が加速できない一因として、作業員の宿泊施設の不足があげられます。そこで当社は、復興支援の一つのかたちとして、宮城県気仙沼市で自ら宿泊施設の運営を開始しました。

気仙沼宿泊施設には、当社のユニットハウスCT-Jを使用し、天井や床、壁は難燃仕様にししました。遠方から集まる作業員の方々が安心して安らげるアットホームな宿泊施設を目指し、全52室をシングルルームとし、内装は落ち着いたデザインにしました。施設運営については、東北電力グループの株式会社エルタス東北と提携し、栄養士監修によるボリューム満点の食事提供や管理人の24時間常駐など、安心・安全な運営を実施しています。お客様からはリーズナブルな価格設定と美味しい食事、きめ細やかなサービスに高い評価をいただき、常時100%に近い稼働率を保持しています。

同施設は、復興工事の需要が落ち着いた後は、ユニットハウスの移設性とリユース性を活かして再利用される予定です。当社では、期間限定の宿泊施設の開設を今後も強化していく計画です。



外観



食事



居室



廊下



食堂



共同浴室

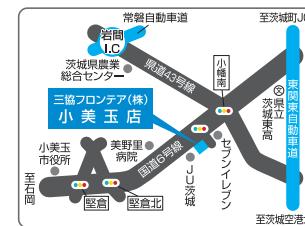
Topic 2 今期、新たに69店舗を出店

当社は、ユニットハウスを販売する展示場およびトランクルームのレンタルサービスを提供するU-SPACEを全国展開しています。今期新たにオープンした69店舗の中から、小美玉店(茨城県)を紹介します。

小美玉店

小美玉店は、2013年2月、茨城県内8店舗目のユニットハウス展示場としてオープンしました。国道6号線に面し、敷地面積約1,000坪を有する全国有数の規模を誇る展示場です。数多くの展示品を取り揃えていることもあり、オープン当初から多くのお客様にご来場いただいています。

小美玉市は茨城県の中央部に位置し、近年茨城空港が開港した効果もあって、以前よりも多くの方が訪れるようになりました。当社は今後も、大規模な展示スペースを活かし、事務所仕様のQuoや中古ユニットハウス、倉庫シリーズなどお客様の幅広いニーズに応えていきます。



Topic 3 工場で地域の方々に自社の野菜を直売

流山工場内に植物工場を設置し、そこで生産した野菜を地域の皆様に直売する取り組みを開始しました。

当社は、2012年10月、流山工場(千葉県流山市)内に植物工場を設置しました。展示スペースとして、植物工場の経営を考えられているお客様に実際に生産過程や野菜などを見学いただいています。同年12月には直売所を設置し、当社のユニットハウスの技術を活かして生産した葉物野菜を、近隣住民の方々に直売する取り組みも開始しました。水耕栽培ならではの野菜の食感がお客様から好評をいただいています。当社はこのような取り組みを通じて、当社の技術を地域の皆様に紹介しています。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:千円)

	第44期末 (平成25年3月31日)	第43期末 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産	11,088,700	12,658,504
現金及び預金	2,325,300	5,337,993
受取手形	1,425,972	884,332
営業未収入金	3,076,499	2,621,058
売掛金	1,206,359	1,202,079
棚卸資産	2,328,343	1,928,738
その他	759,402	723,576
貸倒引当金	△ 33,177	△ 39,274
固定資産	29,211,946	22,653,695
有形固定資産	28,271,426	21,815,317
レンタル資産	15,245,885	11,247,041
建物	2,217,046	1,288,495
土地	9,260,888	8,169,638
その他	1,547,605	1,110,142
無形固定資産	199,226	184,664
投資その他の資産	741,293	653,713
資産合計	40,300,647	35,312,200

(単位:千円)

	第44期末 (平成25年3月31日)	第43期末 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債	15,706,476	13,245,161
支払手形	253,685	353,927
買掛金	4,828,469	4,459,664
短期借入金	5,758,000	1,558,000
未払費用	2,039,285	2,075,103
未払法人税等	782,645	2,412,678
賞与引当金	335,653	333,053
その他	1,708,736	2,052,733
固定負債	4,553,534	3,349,740
長期借入金	3,596,000	2,504,000
退職給付引当金	510,549	447,774
役員退職慰労引当金	178,341	168,091
その他	268,643	229,874
負債合計	20,260,011	16,594,901
純資産の部		
株主資本	20,042,913	18,743,850
資本金	1,545,450	1,545,450
資本剰余金	2,776,663	2,775,491
利益剰余金	16,028,503	14,656,166
自己株式	△ 307,703	△ 233,256
その他の包括利益累計額	△ 2,277	△ 32,791
その他有価証券評価差額金	4,441	77
為替換算調整勘定	△ 6,719	△ 32,868
新株予約権	—	6,240
純資産合計	20,040,635	18,717,299
負債純資産合計	40,300,647	35,312,200

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	第44期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	第43期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
売上高	24,095,305	29,234,927
売上原価	14,188,951	17,741,552
売上総利益	9,906,353	11,493,375
販売費及び一般管理費	6,542,175	6,550,530
営業利益	3,364,178	4,942,845
営業外収益	191,895	78,117
営業外費用	117,891	113,384
経常利益	3,438,182	4,907,578
特別利益	5,980	52
特別損失	42,553	73,718
税金等調整前当期純利益	3,401,608	4,833,911
法人税等	1,331,703	2,364,494
少数株主損益調整前当期純利益	2,069,905	2,469,417
当期純利益	2,069,905	2,469,417

連結包括利益計算書

(単位:千円)

	第44期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	第43期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	2,069,905	2,469,417
その他の包括利益	30,513	1,456
当期包括利益	2,100,419	2,470,873

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

	第44期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	第43期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,759,895	5,566,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,707,072	△ 456,654
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,450,868	△ 1,271,012
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,406	686
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,012,693	3,839,500
現金及び現金同等物の期首残高	5,157,993	1,318,493
現金及び現金同等物の期末残高	2,145,300	5,157,993

連結株主資本等変動計算書(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定			その他の包括利 益累計額合計
平成24年4月1日 残高	1,545,450	2,775,491	14,656,166	△ 233,256	18,743,850	77	△ 32,868	△ 32,791	6,240	18,717,299
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 364,053		△ 364,053					△ 364,053
剰余金の配当(中間配当)			△ 333,514		△ 333,514					△ 333,514
当期純利益			2,069,905		2,069,905					2,069,905
自己株式の取得				△ 75,669	△ 75,669					△ 75,669
自己株式の処分		1,171		1,223	2,395					2,395
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)					—	4,364	26,149	30,513	△ 6,240	24,273
連結会計年度中の変動額合計	—	1,171	1,372,337	△ 74,446	1,299,062	4,364	26,149	30,513	△ 6,240	1,323,336
平成25年3月31日 残高	1,545,450	2,776,663	16,028,503	△ 307,703	20,042,913	4,441	△ 6,719	△ 2,277	—	20,040,635

企業の概要 (平成25年6月19日現在)

商号	三協フロンティア株式会社	
資本金	15億4,545万円	
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣	
設立	昭和44年12月5日	
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル	
役員	取締役会長	長妻 和男
	代表取締役社長	長妻 貴嗣
	常務取締役	端山 秀人
	取締役執行役員	小嶋 俊一
	取締役執行役員	三戸 茂夫
	取締役執行役員	小島 豊
	常勤監査役	村井 康之
	監査役	上田 俊郎
	監査役	重田 龍男
	監査役	山崎 直人

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-20)第18154号
一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-1204-1483号

株式の状況 (平成25年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	23,356,800株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	1,630名 (平成24年9月末比49名増)

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	9,733	41.67
長妻 貴嗣	3,314	14.19
長妻 和男	2,148	9.20
三協フロンティア従業員持株会	310	1.33
三菱UFJ信託銀行(株)	200	0.86
(株)千葉銀行	195	0.84
長妻 幸枝	180	0.77
日本生命保険相互会社	162	0.70
日本トラスティサービス信託銀行(株)(信託口)	160	0.68
モロパンクトリティー クライアンス オムニバス	130	0.56

※当社は自己株式を1,123千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

株主メモ

事業年度
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会
毎年6月

期末配当金受領株主確定日
3月31日

中間配当金受領株主確定日
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

公告の方法
電子公告(URL <http://www.sankyofrontier.com/>)
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所
大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)

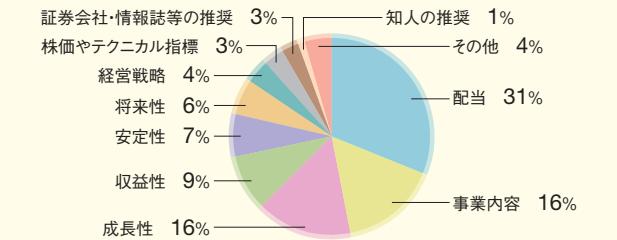
(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 平成22年4月1日付のジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併により、当社普通株式は大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場されております。

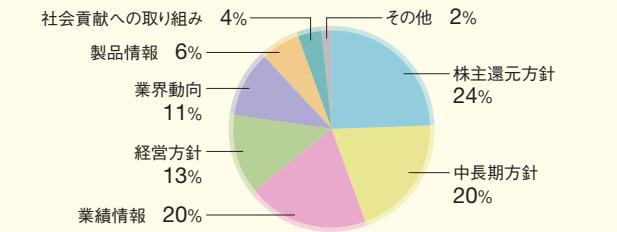
アンケート結果のご報告

「第44期 中間報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。153名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にまいります。

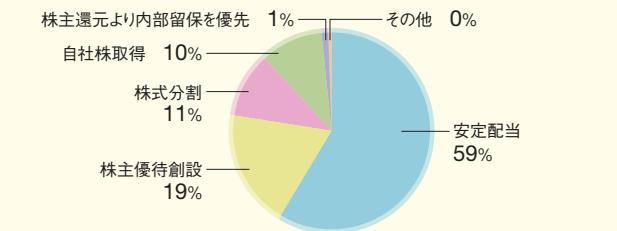
Q1 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。(複数回答)



Q2 当社に関して知りたいことを教えてください。(複数回答)



Q3 当社の株主還元策として期待されていることを教えてください。(複数回答)



当社ホームページのご案内

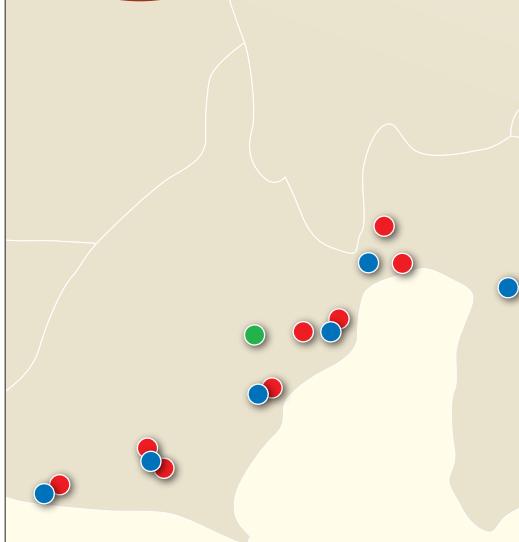
今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>



当社は、現在、静岡県内に営業拠点として展示場を6店舗、トランクルームを8店舗、物流拠点として静岡センターを有しています。静岡県は、東西に長い立地であり、ここ数年出店を強化してきた地域です。静岡営業所を中心として主要都市に展示場を開設し、各展示場の周辺にトランクルームを出店することで、店舗の収益確保を目指しています。

2012年8月には、浜松出張所をオープンし、静岡県西部の強化を図りました。今後も、収益力向上を目指し、地域密着型の店舗運営を推進していきます。



- 営業拠点
- トランクルーム
- 物流拠点



静岡営業所
(2001年5月オープン、2012年12月リニューアル)



浜松出張所
(2012年8月オープン)



U-SPACE清水袖師店
(2012年10月オープン)



静岡センター